

科目シラバス (2022年度)

--

■ 科目基本情報

科目名	アフレコⅡ	科目コード	9430
授業時数/週	3 時間/週	年次・学期	2 年 ・ 通期
必修/選択区分	必修	授業方法	実習
担当教員	大橋正幸		
教員の実務経験	実務経験のある教員による授業科目		
職業実践専門課程	企業等と連携した実習・演習	連携企業等	
備考			

■ 科目詳細情報

授業概要	アニメや映画の吹き替えを通して、声の演技の楽しさ難しさを徹底して追求する応用科目。他学科や外部とのコラボレーション作品も手掛け、様々な現場に対応する力をつける。									
到達目標	①「ゲーム」「アニメーション」「外国映画(ドラマ)」等 音声による演技表現の応用全般 ②メンタル・スキル・マナー 三位一体 ③マイクワーク等 収録ロケーションの応用～実践(能動・和合)									
授業方法	実習、演習、視聴、グループ学習									
実践的教育の内容	担当教員(大橋)：大学で演劇を専攻～卒業後TDLエンターテインメント部を経て、イベント事業監修～プロ劇団所属。後に芸能事務所に在籍し、VP/ナレーション/ドラマ/WEBアニメ等の現場と学校法人勤務を15年継続、声優/芸能等の業界経験を積み現在に至る。●理論～実践の両面から、多角的に指導を施し 初級～応用へと着実にステップアップを図る。(※テキストは現場仕様～オリジナル迄 多岐に亘る)									
成績評価方法	筆記試験 定期試験	0%	筆記試験 小テスト	0%	実技試験	50%	課題評価	0%	平常評価	50%
	①科目別出席率：50% ②期末「実技査定」各項目(発声/滑舌/調音/テンポ/表現力)各10点の合計点：50% 以上 .:①+②=成績評点									
授業外における学修	前期：特にナシ/後期：年度末成果発表を目標に課外補習を実施する 等 ● 検討段階									
教科書・教材	・上記アニメーション/映画作品に基き 担当教員がテキスト化したもの(※都度配布～回収)									
参考文献・資料	・「日本語発音アクセント 新辞典」NHK出版社									
履修上の留意点	教員の主観に依存せず、自発的/能動的に学び、研究する事。●1年次より 更に指導性習得を意識する事。									
授業計画(前)	第1週	・ボイス 研究(コンテ/ワードシート) ・キャラクターボイスの理解と実践(音域/音圧の微調整)								
	第2週	・台本研修(I) アニメーションpart1 シーン作り ・「アクション」×「アンサンブル」の両立と融合。(第1回目)								
	第3週	・台本研修(I) アニメーション part2 シーン作り ・「アクション」×「アンサンブル」の両立と融合。(第2回目)								
	第4週	・OPナレーション 研究「TVアニメーション」 ・基礎課程の振り返り/Na収録の難易度理解(セルフコントロール/整音)								
	第5週	・台本研修(II) 「TVアニメーションシーン作り」 ・「シリアス」×「ウィスパーパーボイス」の両立と融合。(第1回目)								
	第6週	・台本研修(II) アニメーションpart1 シーン作り ・「シリアス」×「ウィスパーパーボイス」の両立と融合。(第2回目)								
	第7週	・台本研修(III) アニメーションpart3 シーン作り ・「コメディ」×「アドリブ」の両立と融合。(第1回目)								
	第8週	・台本研修(III) アニメーションpart4 シーン作り ・「コメディ」×「アドリブ」の両立と融合。(第2回目)								
	第9週	・台本研修(IV) アニメーションpart5 シーン作り ・「OFFの演技」を研究する。(第1回目)								
	第10週	・台本研修(IV) アニメーションpart6 シーン作り ・「OFFの演技」を研究する。(第2回目)								
	第11週	・台本研修(V) アニメーションpart7 シーン作り ・「アクション」×「パーソナリティ」の両立と融合。(第1回目)								
	第12週	・台本研修(V) アニメーションpart8 シーン作り ・「アクション」×「パーソナリティ」の両立と融合。(第2回目)								
	第13週	・台本研修(VI) アニメーションpart9 シーン作り ・「コメディ」×「アドリブ」の両立と融合。(第1回目)								
	第14週	・台本研修(VI) アニメーションpart10 シーン作り ・「コメディ」×「アドリブ」の両立と融合。(第2回目)								
	第15週	・台本研修(VII) 「外国映画『LA LA LAND』part1」吹替シュミレーション ・母国語(英語等)のボイスオーバー/男女間の会話表現(第1回目)								
	第16週	・台本研修(VII) 「外国映画『LA LA LAND』part2」吹替シュミレーション ・母国語(英語等)のボイスオーバー/男女間の会話表現(第2回目)								
	第17週	・前期「実技査定」(発声/滑舌/調音/テンポ/表現力) ● 全員で聴取～採点 ・自他の評価に対応する聴力/各指導内容の理解力 等を養う/インストラクター研修を兼ねる(第1回目)								

授業計画 (後)	第18週	・台本研修 (Ⅳ) アニメーションPart1 シーン作り (会話研究①) ・「静寂」「シリアス×コミカル」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ (第1回目)
	第19週	・台本研修 (Ⅳ) アニメーションPart2 シーン作り (会話研究①) ・「静寂」「シリアス×コミカル」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ (第2回目)
	第20週	・台本研修 (Ⅳ) アニメーションPart3 シーン作り (会話研究①) ・「静寂」「シリアス×コミカル」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ (第3回目)
	第21週	・台本研修 (Ⅳ) アニメーションPart4 シーン作り (会話研究①) ・「静寂」「シリアス×コミカル」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ (第4回目)
	第22週	・台本研修 (Ⅴ) アニメーションPart5 シーン作り (会話研究②) ・「静×動」「シリアス」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ (第1回目)
	第23週	・台本研修 (Ⅴ) アニメーションPart6 シーン作り (会話研究②) ・「静×動」「シリアス」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ (第2回目)
	第24週	・台本研修 (Ⅴ) アニメーションPart7 シーン作り (会話研究②) ・「静×動」「シリアス」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ (第3回目)
	第25週	・台本研修 (Ⅴ) アニメーションPart8 シーン作り (会話研究②) ・「静×動」「シリアス」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ (第4回目)
	第26週	・台本研修 (Ⅵ) アニメーションPart9 シーン作り (会話研究③) ・「静×動」「シリアス×コミカル」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ (第1回目)
	第27週	・台本研修 (Ⅵ) アニメーションPart10 シーン作り (会話研究③) ・「静×動」「シリアス×コミカル」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ (第2回目)
	第28週	・台本研修 (Ⅵ) アニメーションPart11 シーン作り (会話研究③) ・「静×動」「シリアス×コミカル」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ (第3回目)
	第29週	・台本研修 (Ⅵ) アニメーションPart12 シーン作り (会話研究③) ・「静×動」「シリアス×コミカル」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ (第4回目)
	第30週	・台本研修 (完結) アニメーションPart13 シーン作り (総合研究) ・「テーマ理解」「リアルなアクティング」等の演技的本質を追求する。(第1回目)
	第31週	・台本研修 (完結) アニメーションPart14 シーン作り (総合研究) ・「テーマ理解」「リアルなアクティング」等の演技的本質を追求する。(第2回目)
	第32週	・台本研修 (完結) アニメーションPart15 シーン作り (総合研究) ・「テーマ理解」「リアルなアクティング」等の演技的本質を追求する。(第3回目)